

クボタ空調株式会社 栃木工場

1. 事業概要

住所	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地 28-1
従業員数 (協力会社)	340名 {H29(2017).4.1現在}
敷地面積	32,357 m ²
事業内容	当工場は、大型(セントラル式)空調機器・ヒートポンプ空調機器の設計・開発及び製造をしている工場です。 またクボタグループの課題であるTPP対策等の国内農業市場では、大規模園芸市場向けの空調機(ぐっぴーバズーカ)にも参入を果たしました。クボタの農業関連部門と共に、日本の農業部門の発展にも寄与していきたいと考えています。



主要製品

空調機器



ユニット型空気調和機



コンパクト型空気調和機



ヒートポンプ空調機



工場向けエリア空調機



農業用HP空調機(ぐっぴーバズーカ)

工場変遷(沿革)

1970	久保田鉄工(株)と米国トレン社の合弁会社としてクボタトレン(株)を設立
1980	久保田鉄工(株)(現(株)クボタ)の完全子会社化(出資比率100%)
1994	研究施設「テクニカルセンター」新設
1998	社名を「クボタ空調株式会社」へ変更
2001	デシカント空調機(温度と湿度を個別制御)生産開始
2013	ヒートポンプ空調機生産開始
2013	農業ビニルハウス用ヒートポンプ空調機(ぐっぴーバズーカ)生産開始

クボタ空調株式会社 栃木工場

2.環境方針

ISO環境方針

基本方針

当社は、空調機器の開発・設計・製造・出荷・サービスの全てのプロセスを通じ、ますます深刻化する地球環境問題などに対し、「地球規模で持続的な発展が可能な社会」「企業と市民が相互信頼の基に共存する社会」の実現をめざします。環境に配慮した企業活動・製品・技術・サービスの提供を通じて、地球環境・地球社会の保全に貢献し、快適な環境の実現を当社の使命として取り組んでゆきます。

実施事項

1. 当社の開発・生産活動及び製品、サービスに関連する環境側面を把握し、適切な環境マネジメントシステムを構築することにより、継続的な改善に努めます。
2. 当社の開発・生産活動及び製品、サービスの環境側面に関連する法的要求事項、及び当社が同意するその他の要求事項の遵守に努めます。
3. 当社は環境影響の軽減を図る目標を定め、その達成に努めます。

重点実施事項は次の通りとします。

- (1) 省資源、省エネルギー活動の推進
- (2) 廃棄物のリサイクルと削減活動の推進
- (3) 有害化学物質の代替化、又は削減活動の推進
- (4) 環境に配慮した物品の使用及び製品の開発・設計の推進
4. 地域の環境美化・環境啓発活動に積極的に参画し、地域社会との共生に取り組みます。
5. この環境方針は文書化し、全従業員に周知徹底致します。
6. この環境方針は、社会への責任を示すために、一般の人の求めに応じて入手可能なものとします。

2016年 1月 8日

クボタ空調株式会社

代表取締役社長 岡野 政治郎

ISO認証取得状況

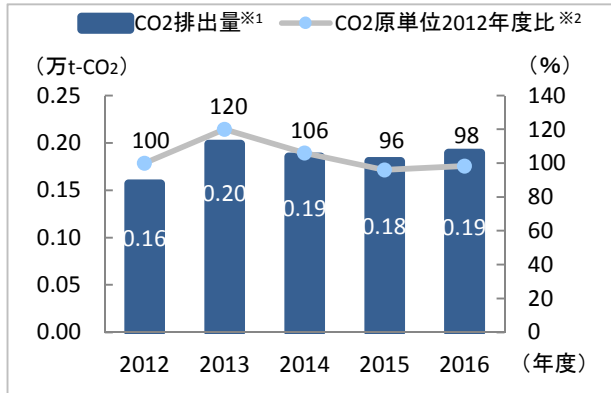
1	2004	ISO14001	: 1996年版	認証取得
2	2005	ISO14001	: 2004年版	移行審査終了
3	2007	ISO14001	: 2004年版	更新審査終了
4	2010	ISO14001	: 2004年版	更新審査終了
5	2013	ISO14001	: 2004年版	更新審査終了
6	2016	ISO14001	: 2004年版	更新審査終了
7	2017	ISO14001	: 2015年版	移行審査終了

クボタ空調株式会社 栃木工場

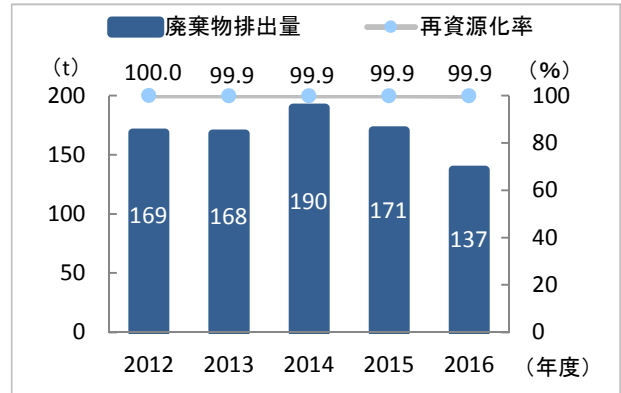
3.環境パフォーマンス

(1) 主要な環境指標の推移

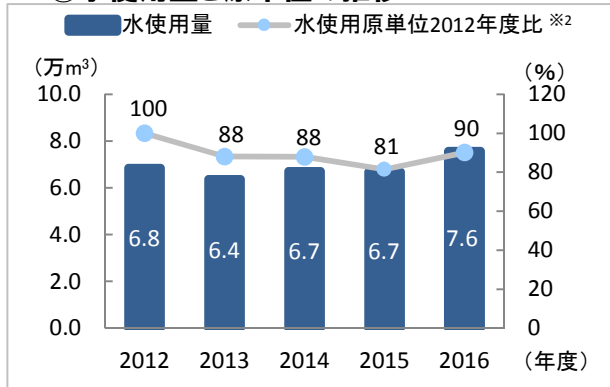
① CO2排出量と原単位の推移



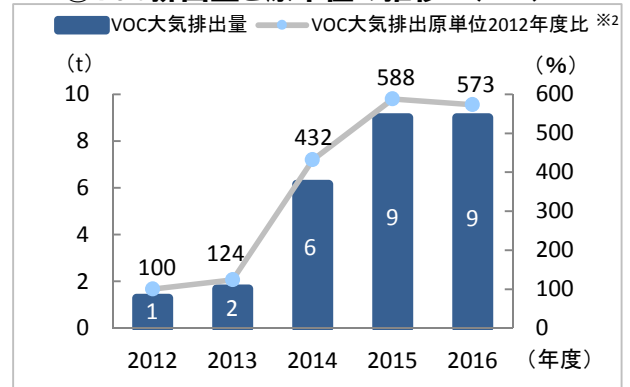
② 廃棄物排出量と再資源化率の推移



③ 水使用量と原単位の推移



④ VOC排出量と原単位の推移 (※4)



※1 CO2排出量はエネルギー起源のCO2排出量です。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。

※2 2012年度における内作生産金額あたりの排出量(または使用量)を100とした場合の指数

※3 報告対象期間: 2012-2015年度は4月1日から翌年3月31日の集計、2016年度は1月1日から12月31日の集計

※4 2014年より、製品品質向上を図り、塗料変更・膜厚UPにより品質向上の成果(製品の長寿命化)をあげ、高耐久性を実現しました。

(2) PRTR法対象物質集計結果(2016年1月~12月)

単位: kg/年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	2,082	0.0	0.0	0.0	0.0	231
71	塩化第二鉄	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80	キシレン	5,104	0.0	0.0	0.0	0.0	567
300	トルエン	1,808	0.0	0.0	0.0	0.0	824
448	メチレンビス(4, 1-フェニレン)=ジイソシアネート	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上の物質について集計

クボタ空調株式会社 栃木工場

4.サイトデータ(2016年1月～12月の実績)

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	963
水使用量	万m ³	7.6

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,892
----------------------------	-------------------	-------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		電着乾燥炉		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
SO _x	m ³ N/h		K値規制	0.64	0
NO _x	ppm		濃度規制	230	5未満
ばいじん	g/m ³ N		濃度規制	0.2	0.005未満

排水量	公共用水域	万m ³	7.6
	下水道	万m ³	—
汚濁負荷量	COD	kg/年	—
	窒素	kg/年	—
	りん	kg/年	—

排水	放流先	項目	単位	末端排水口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.8～8.6	7.2, 7.6
		BOD	mg/ℓ	30	4
		COD	mg/ℓ	—	—
		窒素	mg/ℓ	—	—
		りん	mg/ℓ	—	—
		六価クロム	mg/ℓ	0.1	ND
		鉛	mg/ℓ	0.1	ND
		COD総量規制値	kg/日	—	—
		窒素総量規制値	kg/日	—	—
		りん総量規制値	kg/日	—	—
下水道		pH	最小値, 最大値	—	—
		BOD	mg/ℓ	—	—
		COD	mg/ℓ	—	—
		SS	mg/ℓ	—	—

廃棄物排出量	t	137
再資源化率	%	99.9

VOC排出量	t	9
--------	---	---

5.環境トピックス

1)「環境調和型製品」の開発

工場向けエリア空調機、溶接・塗装レス構造空調機、ZEB化対応調湿外気処理ユニット等、環境負荷を低減する「環境調和型製品」の開発を推進しています。

2) 配車トラック台数の削減

「デポ倉庫活用2次輸送」を実施し、1次配車のトラック台数を削減しました。
それに伴う「CO2発生量削減」の環境負荷軽減活動を 外部関係者と協力して推進しています。

3)「ムダの排除」等の積極的な改善活動

社員一人一人が、「環境改善の意識」を活動につなげることを掲げています。
「ムダの排除」等を通して環境改善を組織一体とした活動として捕え、業績向上につなげています。

6.環境コミュニケーション

[地域との共生活動記録]

・地域美化活動

名 称	工場周辺の清掃活動
日 付	毎月1回実施
参加人数	15名



・レース終了後の清掃ボランティアとしての参加

名 称	ジャパンカップサイクルロードレース
日 付	2016年10月22日
参加人数	16名